

令和7年度「かなざわ幼児教育みちしるべ」活用推進事業 「結果報告書」

施設名 くら月こども園

【連携小学校】

金沢市立鞍月小学校

【連携幼児教育施設】

みはる幼稚園、あけぼのこども園

【主な取り組み内容・経過】

- ・ 園内研修会や意見交換会の実施日や内容、テーマ、参加人数、メンバー等を記載してください
- ・ お子さんの姿や保育者、小学校の先生の思いも含め、具体的に記載してください
- ・ 写真や資料取り組みにおいて明らかになったことや成果、新たな課題等についても、できるだけ詳しく記入ください

【別紙2 参照】

【令和7年度の活動の成果・考察】

- ・ 昨年度に引き続き、「かなざわ幼児教育みちしるべ」活用推進事業の一環として、一つの小学校を軸にして、同じ小学校校区のこども園が合同で研修会や活動を実施できたことは有意義なことである。
- ・ 職員同士の交流のみならず、園児の交流にも広げたことは大きな成果であると考え。職員にとっても子どもにとっても“顔を知っている関係性”“知っている人との連携”は活動や内容を更に深めていく重要な要素であると考え。

【令和7年度の活動を終えての所感】

- ・ 昨年度に引き続き、今年度も同じ小学校校区の3園で連携して「かなざわ幼児教育みちしるべ」活用推進事業に取り組ませていただくことができたことは有難い。継続した取り組みということで、当初は、昨年度の活動に更に上乘せした形で活動を増やし、深めていく心積もりでいたのだが、思うような活動ができず反省している。人的な余裕がないと十分な取り組みができないことを今更ながらに痛感した次第である。
- ・ 連携する幼児教育施設の先生方や小学校の先生方とは昨年度構築した関係性のまま、今年度も取り組むことができた。メンバーが交代しても関係性が保てるよう引き継いでいきたいものである。
- ・ 次年度は、取り組みの中での3園の子ども同士の交流が小学校入学後にどのように実を結ぶのか（または結ばないのか）検証し、今後の活動の参考にしたいと考える。
- ・ 今年度も“気負わず、気軽に” 幼保小連携に取り組むことができたが、昨年度の反省であった、肝心の「かなざわ幼児教育みちしるべ」活用推進には至らなかったことを深く反省している。次年度こそは、「かなざわ幼児教育みちしるべ」を的確に理解し、活用する方策を探りながら「架け橋カリキュラム」作成を進めていきたい。

また、『家庭と共同して子どもの育ちを支える』という事業の目的を果たすために、保護者を巻き込んだ活動も展開していきたいと考える。

※この「結果報告書」は、資料として金沢市公式HPや研修会等で公開させていただく予定です。

【主な取り組み内容】

令和7年度 くら月こども園

実施月日	活動	テーマ	内容	参加人数
7月30日	保育参観	知る (職員交流)	小学校教員7名が当園の保育を参観。参観後、参加者と当園園長との意見交換を行った。	小学校教員7名 当園 1名
8月1日	合同研修	学ぶ (職員交流)	鞍月小学校で開催された、みはる幼稚園主催の幼保小連携研修に当園の主幹保育教諭が参加。小学校教育と幼児教育のつながりについて学び、参加者間で意見交換した。	主幹保育教諭 2名
2月12日	意見交換会	学ぶ (職員交流)	みはる幼稚園副園長、あけぼのこども園園長、当園園長が参集し、鞍月小学校にて鞍月小学校のスタートカリキュラムの確認や架け橋プログラム等、今後の取り組みについて検討を行った。また、3園合同小学校探検に向けての打ち合わせを行った。小学校にもねらい等を共有し活動に対する助言、協力を頂いた。	幼稚園 1名 こども園 1名 当園 1名
2月17日	情報交換会	知る (職員交流)	年長組担任と小学校教師が入学前懇談会を実施し、情報交換を行った。	小学校教員 3名 年長担任 1名
2月25日	情報交換会	知る (職員交流)	小学校教師が入学予定児童の集団活動の様子を見るため、当園の体操教室を見学し、その後、年長組担任と情報交換を行った。	小学校教員 1名 年長担任 1名
3月2日	交流	小学校に親しむ (こども交流)	小学校の理解・協力の下、3園の年長児が混合グループを作り、学校探検や授業参観を行った。同じグループのメンバーとコミュニケーションが取れるように園の職員がサポートした。  スタート時は少々緊張気味の子どもたちだったが、徐々に緊張が解けたようで和やかな表情が見られたり普段と変わらない声が聞かれたりした。少人数グループでの探検が良かったと思われる。可能な限り、クラスにも入らせてもらい、小学校生活への見通しが持てたようである。	年長 23名、 保育教諭 3名